



## 2025年は前進・成長の年!

明けましておめでとうございます。今日から3学期が始まりました。16日間の冬休み、みなさんはどのように過ごしたでしょうか？3学期もともに頑張っていきましょう。▼2025年は巳年ですが、実は「干支」と「十二支」は別の意味があることをみなさんは知っているでしょうか？「干支=十二支」と思っている人が多いと思いますが、実は干支とは十二支と十干を組み合わせたものを言います。十二支（子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥）は12年周期で繰り返され、古代中国で時刻や方角、年を表すために使われていました。一方、十干は（甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸）の総称で、古代中国の暦法で順序や番号を表していました。これら十二支12種類と十干10種類を組み合わせたものが干支で全部で60種類あるのです。今年では十二支でいうと「巳」、十干では「乙」の年となり、干支は「乙巳」となります。▼今年の十干である「乙」は「しなやかに伸びる草木」のことを指します。草木は時間をかけて花を咲かせ実をつけることから、「**困難な状況にあっても紆余曲折しながら、根気よく粘り強く進む忍耐力**」や



「**周囲との協力や調和、チームワーク**」を象徴すると言われています。▼一方、今年の十二支『巳』とは蛇のことです。蛇と言うと「怖い」とか「不気味」という印象を持つ人が多いかもしれませんが、実は「**新しい自分に生まれ変わる**」・「**幸せな未来をつかむ**」というポジティブなイメージもあるのです。それは、蛇が「脱皮」を繰り返し、成長していく生き物であること。ゆっくりとしなやかに曲線を描きながら前進する蛇の動き方が「**変化する環境に柔軟に対応する力の象徴**」と言われていることに由来します。▼「巳」にも「乙」にも共通するのは、しなやかさや柔軟性、そして成長というキーワードです。「乙巳」の年は成長するのに持って来いの年と言うことができるのです。▼過去の「乙巳」の干支の年には、「大化の改新(645年中大兄皇子と中臣鎌足が蘇我氏を滅ぼした国政改革)」や「1965年、前年に開催された東京オリンピックの余韻が残る中、日本の経済発展が急加速」するなど、「再生」・「成長」を象徴する出来事が実際に起きています。▼2025年がみなさんにとって「しなやかに前進し成長する」1年となることをお祈りしています。



## 冬休み全校学習会



今年度の冬休みは、これまでの学年ごとの学習会に変えて全学年一斉の学習会を3日間に渡って行いました。▼3日間の学習会には延べ28人の生徒が参加しました。特に参加者が多かったのが最終日で全校生徒の5分の1にあたる13人が参加し、冬休みの宿題の仕上げや受検に向けて頑張っていました。▼学習会に参加した人たちは、友だち同士で教え合ったり、先生に気軽に質問したり、



自分のペースでやりたい勉強を黙々と頑張ったり、それぞれがそれぞれのペースで有意義な時間を過ごしていたように思います。▼今回の全校学習会は、部活動や面接練習等と被ってしまい、参加できなかったのに参加できなかった人もいたかもしれません。また、2時間×3日間という限られた時間ではありましたが、参加した生徒のみなさんの様子を見ると「**受検は団体戦**」の雰囲気全校体制で作るのにぴったりな機会であると感じました。3学期が始まってからも、このような時間を生み出せたらいいなあと思うほど、充実した時間になったと感じました。▼さて、今日からいよいよ3学期が始まりました。3年生は42日間、1・2年生は49日間の3学期となりますが、3年生は進学に向けて勝負の時間となります。また、1・2年生は進級に向けての準備に大切な時間となります。慌ただしい学期となることが予想されますが、学生の本分である学習はもちろんのことすべての活動において、三珠中生らしく何事にも精一杯頑張っていきましょう。